

銀漢亭日録



伊藤伊那男

12月17日(日)▼終日家。原稿書きや札状など。鮪刺身、鮭一塩、大根サラダなど。酒は瀬祭磨き三割九分。

18日(月)▼店、「演劇人句会」あと六人。池田のりをさん、三輪初子さん。

19日(火)▼ひまわり館の「萩句会」の選句へ。あと十二人。店にて忘年会。会員から「毎日俳壇」の選者による今年の秀句欄で高野ムツオさんが私の「土を出て土の一機もなき蚯蚓」をベストテンに上げていたと知らせあり。

20日(水)▼高校同期「三水会」五人。「雛句会」十二人、など。
21日(木)▼「銀漢句会」あと十六人。青柳飛さんあと二日でロスへ戻ると。皆川文弘さん。

22日(金)▼店の営業本年最終日。野村時代同期の畑中君の学習院時代の友人六名の会。洋酔さん最終日と聞きつけて来店して下さる。そこへ水内慶太さんも。うさぎさんも、宗一郎さんも、近恵さんも。

23日(土)▼品川発八時十分の新幹線にて、「奈良すす逃げ吟行会」へ。快晴。富士山を仰ぐ。「崎陽軒」のシウマイ弁当が定番。半月程の休暇突入に緊張が解けて眠い眠い。京都から近鉄に乗り換えて大和上市駅(この間、西ノ京で吉村征子さんから柿の葉寿司の差し入れを受ける)。ここで二十五人集合。小型バスに美して貰い、天武・持統天皇の聖地、宮滝へ。好天。吉野の宿「一休庵」に近く、醤油醸造所の仕込み蔵見学。買う。吉野の山々来し。荷を置き、蔵王堂、大日寺、吉水院を見学。葛湯も。十八時、夕食。猪鍋。最後の雑炊を私が作る。好評。二十時から五句出し句会。二十二時就寝。

24日(日)▼六時半から皆は散策へ。まだ真暗。私は残る。九時過、奥千本までバス。西行庵を訪ね、中千本まで徒歩で下山。快晴。奈

庁職員が一時間ほどかけて案内してくれる。眼福！ 新京極の誓願寺で締めとする。十五時半、「たつみ」で一時間ほど飲む。十八時、「味野里香」。W女史、亡妻の従妹の川村悦子(京都造形芸術大教授、画家)と忘年会。

27日(水)▼九時発。北大路今宮の「はしもと珈琲」で朝食。卵サンド旨し。風花が雪となる。船岡山を巡る。千本あんま堂を訪ね、閻魔像、紫式部供養塔などを見る。大極殿跡を廻って上七軒「芳月」で寿司の昼食。北野天満宮のお土居跡を見て、北野白梅町から風電で等持院。十六時、聖護院の「河道屋養老」で養老鍋。二十三時、東京帰宅。

31日(日)▼原稿書き。夜、家族揃ってお年取り。
1月1日(月)▼昼、家族年始の膳。夕方、杏一家来て十二人の新年会。生牡蠣、からすみ、蟹鍋など。

2日(火)▼十一時、ボレボレ東中野にて、北村皆雄監督の映画「海の産屋」を見る。戻って、白味噌雑煮などで酒。昼寝。夜、河豚鍋。牡蠣の土手焼。鱈酒。

3日(水)▼華子(中一)が宿題でどこかの博物館へ行きレポートを書きたいというので二人で上野へ。東照宮、清水寺などを巡り、「下町風俗資料館」を見学。南京玉簾の実演あり。あとアメ横を散策する小さな旅。

4日(木)▼「銀漢俳句会新年俳句大会」の募集句、五百句超の選句。
5日(金)▼店、十二時半、毎日新聞「俳句αあるふあ」編集部、中島三紀さん、カメラマンの武市さん来店。今年、連載の俳句と料理のカラー三頁の料理撮影。初回、三回分、後半四回分。七種の料理を作る。終わったあと、その料理を肴に三人で新年会。

6日(土)▼朝から家族は越後湯沢へ。寒中見舞三百枚ほど宛名書き。年末から仕込んだカラスミの干し具合順調。明日、新年会を予定していた水内慶太さん脳梗塞で入院とて中止に。今日は酒を抜く。
7日(日)▼慶太さんのことが気になり早く目が覚める。九時頃、慶太さんから直接電話あり。今月の約束、すまん、皆さんに宜しく

良の山々、熊野の山々、高見山などの眺望に感激。宿で昼食のあと、バスで飛鳥駅。朝妻さん他、数名と合流し、天武持統陵を参拝。あと鬼の俎、鬼の雪隠、欽明天皇陵。十五時、「ホテルフジタ奈良」に荷を解く。句会までの時間、町の居酒屋で句を作ろうと入ると、何と、三村一さんが「先生！」と。昨年、ゲストで来て下さった野村証券の先輩。無理矢理連れて「蔵」へ。三十人の忘年会。茨木和生先生から、またまた、極上の鮎鮒到来。五句出し句会あと二句出し句会……。奈良は雨となる。

25日(月)▼皆は春日大社の参拝へ行つたようだが私はホテルでぐずぐず。伊勢・河合真如氏の『日本神話の智慧——生と死の科学』を読み始める。八時朝食。奈良茶粥など。九時発。石切剣神社へ。長い参道の商店街を下り参拝。大腸癌手術の折、京都の義母がお守りを送ってくれたことがあり、ようやくお礼参りを果たす。参道で屋久杉の勾玉のネックレスを記念に買う。戻って本宮も参拝。大阪の町を一望する。昼、京都に出て武田夫妻、大溝、花穂、羽衣、井蛙さんと養源院の宗達の杉戸絵「白象」、後白河院の陵墓、豊国神社の鐘と耳塚、六波羅蜜寺、珍皇寺と巡り、十六時、六波羅蜜寺へ戻り、念仏踊を見る。分かれて井蛙さんと「からすま京都ホテル」へ。十八時、祇園富永町の「らく山」。W女史と待ち合わせて忘年会。料理が出るわ出るわ……。三時間ほど楽しむ。さすがに連日の強行軍と酒で疲労あり、二次会なしで宿へ。

26日(火)▼九時間ほど寝たか。八時起床。九時発。六角堂を見て、「イノダコーヒ 三条支店」に行くが開店前。「スマート珈琲店」にくと行列。矢田寺に寄り、河原町の「インパルス」で朝食。卵トリストがうまい。京阪電車で出町柳。下鴨神社の手前の最近公開された「旧三井家下鴨別邸」に寄る。河合神社の鴨長明の旧跡。下鴨神社。賀茂川を渡り寺町へ入る。四条までずっと寺町を歩き通し、二十ほどの寺を見たか。途中、京都御所を通った時、仙洞御所が一般公開していることを思い出し、訪ねてみるとOK。宮内

と。声はやや纏れているが、この調子なら快復早いのではないかと。少し安心する。十三時、中野サンプラザで「春耕同人句会」。あと十人ほどで「炙谷」、親睦会。道で「未来図」の新海あぐりさん他四人と会い、もう一軒。
8日(月)▼終日家。句集、本の礼状。その他雑用の一日。明日から仕事スタート。夜家族スキーから戻る。
9日(火)▼「火の会」初句会八人。「苗句会」あと十五人。
10日(水)▼発行所「梶の葉句会」選句。「きさらぎ句会」あと九人。てる緒さんの丸餅沢山焼く。

11日(木)▼発行所、島谷高水さんの句会。終って五人店。入れ替わり、屋内松山、西村麒麟さんなど。
12日(金)▼「大倉句会」あと十九人。週に一度、家の清掃に来ていただいている中根さんから出身の三宅島のくさを貰ったので、店が終わったあと焼く。

13日(土)▼風邪すつきりせず。寝坊して十時の運営委員会に滑り込む。十三時、ひまわり館にて「銀漢本部句会」。六十名。あと「テング酒場」にて十人ほどの親睦会。
14日(日)▼終日家。雑用こなす。カラスミに焼酎を塗って干し上げ終了。七腹。夕食でおひろめ。Good。第三句集のまとめスタート。

15日(月)▼「演劇人句会」七人。皆川文弘さん新年の挨拶に来店して下さる。
16日(火)▼井蛙さん元同僚数名と来店。この方たちと今年句会を開くと。山仲間だった今田園子さん。

17日(水)▼藤森壮吉さんの「問句会」七人。「三水会」(高校同期)六人。武田禪次、坪井研治、池田のりを、木戸敦子さん(新潟)の「三田俳句会」のメンバーら。
18日(木)▼「春耕俳句会」の「新年俳句大会」の選句。応募句八五〇句ほど！ 店、向かいのビルのテナントに入っている方、俳句を始めたいと来店あり。「銀漢句会」あと十七人。